



7月

まだまだ梅雨はあけません…。



7月です。暑くなってきましたし、まだまだうっとうしい梅雨が続いています。お子様の体調管理には十分に気をつけてください。



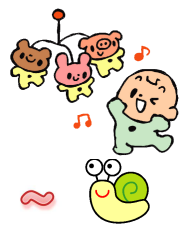
さて、7月はプールの季節です。プールにも色々ありますが、ビニールプールは7ヶ月くらいから、施設等の幼児用プールは3歳くらいからといわれます。水遊びが目的ではなく、水に慣れさせたり、涼ませたりだけなら、お風呂が最適です。

ところで、新型コロナウイルスの猛威はまだまだ続いています。マスク着用により熱中症リスクも高まるといいますし、人との接触、お出かけの際には特に気を配る事も大切ですね。

☆つゆの時期に気をつけたいこと☆ **お子さんの体調管理をしっかり！！**

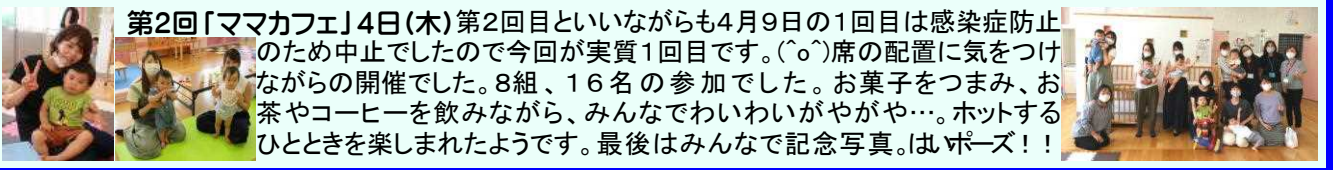
◆事故◆ 雨の日は、滑ったり、転んだり、また傘をさすことで視界が悪くなったり…。事故の危険性が高まりますので注意しましょう。	◆食中毒◆ 食中毒は6月から9月頃にかけて多く発生します。しっかり火を通し、できるだけ早く食べるようにしましょう。	◆かぜ◆ 蒸し暑さから汗をかきこが増えます。汗をかいたらすぐに着替えたり、寒いときは上着を着せたりなど、体温調節を行ってください。
--	---	---

～子育てワンポイントアドバイス～ ☆カンペキな育児法なんてありませんよ☆
 “子育てが難しい時代”だなんて、誰が言い出したのでしょうか。何の問題もない優秀な子に育て上げようとしたら、それは、大変だと思います。しかし、親によく似ていればそれで十分と、覚悟を決めれば、子育てはこの上なく楽しいものとなります。大切なことは、子どもが“とてもかわいい”という思いです。「親子共々生活を楽しんでいたら、子どもはまともに育っていた。」と、子育ての諸先輩がよく話をします。あれこれ欲張らずに、子育てを楽しみましょう。よく見れば、子どもは親と同じ長所を持つものです。また親によく似た欠点も目立つものです。それでも、親だって、ちゃんと社会人として生活してきているではありませんか。大丈夫です。子どもに笑顔がいっぱい溢れるような接し方で、ゆったりと構え、子育てにあたってください。親がゆとりを持てば、子どもも立派に育ちます。また、子育ては、一人だけではできません。一人で頑張ろうとせず、できるだけ人の手を借りるのもいいことです。多く人の手がかけられた子どもは、多くの人のおよところを吸収します。大人になった時にきっとそのよさが見えてくるでしょう。

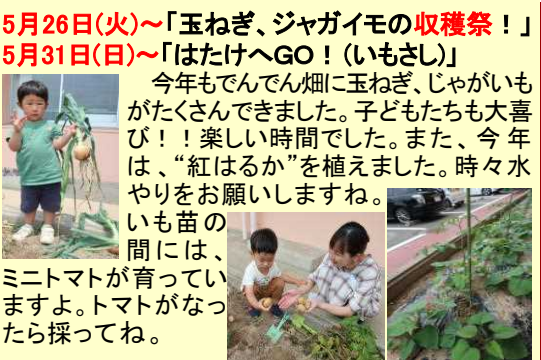


～ 子育て支援センター「でんでんむし」の6月のイベントから ～

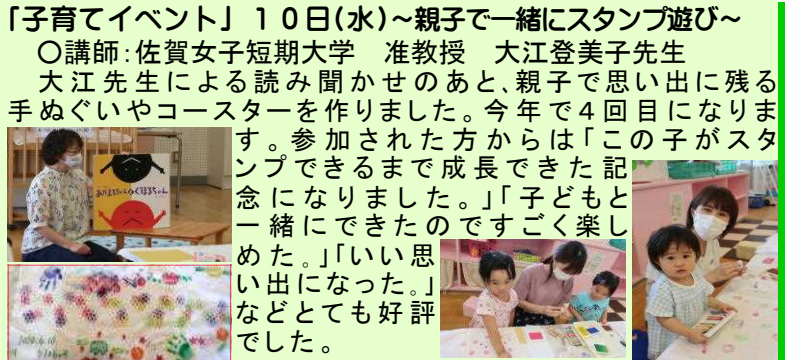
第2回「ママカフェ」4日(木)第2回目といいながらも4月9日の1回目は感染症防止のため中止でしたので今回が実質1回目です。(o)席の配置に気をつけながらの開催でした。8組、16名の参加でした。お菓子をつまみ、お茶やコーヒーを飲みながら、みんなでわいわいがやがや…。ホットするひとときを楽しまれたようです。最後はみんなで記念写真。はっポーズ！！



5月26日(火)～「玉ねぎ、ジャガイモの収穫祭！」
5月31日(日)～「はたけへGO！(いもさし)」
 今年もでんでん畑に玉ねぎ、じゃがいもがたくさんできました。子どもたちも大喜び！！楽しい時間でした。また、今年、「紅はるか」を植えました。時々水やりをお願いしますね。
 いも苗の間には、ミニトマトが育っていますよ。トマトがなったら採ってね。



「子育てイベント」10日(水)～親子で一緒にスタンプ遊び～
 ○講師：佐賀女子短期大学 准教授 大江登美子先生
 大江先生による読み聞かせのあと、親子で思い出に残る手ぬぐいやコースターを作りました。今年で4回目になります。参加された方からは「この子がスタンプできるまで成長できた記念になりました。」「子どもと一緒にできたのでとても楽しめた。」「いい思い出になった。」などとても好評でした。



今月のメニュー

- 2日(木)「たなばた会」10:30～
- 9日(木)「食育相談会」14:30～
- ・講師：佐賀女子短期大学 助手 西原由紀先生
- 21日(火)「お誕生日おめでとう」10:30～※児童館と合同
- 24日(金)「子育てイベント～夏の交流会～」10:30～
- ・担当：佐賀女子短期大学 教授 相浦雅子先生
- ※全ての講座、イベントで託児あります。

☆ 連絡先：多久市児童センター内「子育て支援センター」☆ [Tel 0952-37-1117](みんな・いっしょに・いっいな)

